



イマジン
ロータリー

Dist.2620 THE ROTARY CLUB OF SHIZUOKA

Weekly Bulletin

IMAGINE ROTARY
イマジン ロータリー

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

静岡ロータリークラブ ●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/望月 啓行 ●副会長/平尾 清 ●幹事/藤田 博久 ●副幹事/番匠 俊行

2022-2023 1月23日 ☁️ 第3650回例会

ゲスト卓話「米山記念奨学事業について」



●ロータリーソング●



ソングリーダー
川辺 哲君

●ゲスト紹介●

国際ロータリー第2620地区
米山記念奨学委員会 委員長
渡辺 郁様 (甲府南RC)

●会長挨拶●

会長 望月 啓行君

今日は「ロータリーと人材育成」というテーマで、お話ししたいと思います。ロータリーには二つの人材育成、「ロータリアン自身の自己研鑽」と「次世代の育成」があります。まず「ロータリアン」に対しては『入りて学び出でて奉仕せよ』という言葉があ

りますが、これは「会員同士がロータリー精神と友情で結ばれ、お互いが学び育てあい、自己研鑽に励む。その自己研鑽した自分を人のための奉仕に役立てる」という事で、ロータリーは「親睦による自己研鑽と奉仕のサイクル」であるということです。そして、この言葉は現在「JOIN LEADERS, EXCHANGE IDEAS, TAKE ACTION」と引き継がれています。さて今日は「次世代育成」をメインに話をしたいと思います。さて、企業の次世代人材育成というと、「企業の未来をつくる人材を育てる」「企業のミッションを達成する人材を育てる」ということが主な目的で、OJT、自己啓発、Off-JT等があります。一方ロータリーの場合は「青少年が将来リーダーとなるために、奉仕プロジェクト・研修・交流などに参加することによって必要なスキルを身につける」「ロータリアンを模範として、倫理、奉仕、親睦の理念を伝える」事が目的になります。そしてその為には「プロジェクト・研修」「模範・交流」「奨学金支援」等

の手段を使います。それでは、どのようなプログラムがあるか、見ていきましょう。2019年までですが、国際ロータリーでは「ローターアクト」「インターアクト」「青少年交換」、ロータリー財団では「ロータリー財団奨学金」、そして後ほど渡辺委員長から説明いただく米山奨学会では、米山奨学金があります。最初の三つはロータリーの年会費でのサポート、あと二つの奨学金はロータリアンの「寄付」で成り立っています。簡単にこれらを説明したいと思います。インターアクトは1962年から開始されたプログラムで、12歳から18歳の中高生が対象、ボランティア等をやっただいて、いろんなスキルを養う、一緒に楽しみながらロータリーの「超我の奉仕」を学び、行動力を身につけるといいます。全世界には34万人のインターアクトが活動していて、2620地区には355人います。ご存じのとおり静岡ロータリークラブにもあり、本年度は荻野さんに委員長をやっただいていますが、初めて委員会がつくられたのは1974年牧田委員長が設立しました。現在は静岡英和女学院高等学校があります。本年度の活動は年次大会と静岡特別支援学校のボランティアを行いました。次にローターアクトですが、1968年からこのプログラムは始まり、18歳以上が対象で社会人もしくは大学生になります。アクトクラブ自身に運営を全て任せてロータリーは側面支援です。世界中で20万人以上2620地区は57名会員がいます。静岡ロータリーでも1973年向坂委員長が静岡ローターアクトを設立し、今現在六名という長い歴史があります。静岡ローターアクトは写真のように積極的に様々な活動をしています。3つめの青少年交換は百カ国以上のロータリーのネットワークを使って15歳から19歳の学生が交換留学生となるというプログラムで、久保田年度にバレンティーノさんが来たので、静岡ロータリーでも記憶に新しいと思います。説明ビデオがありますのでご覧下さい。このロータリー青少年交換は高校生が主に中心で、これはロータリアンのご子息もいけます。先方の国でロータリアンがフォローしていただきながら留学生活が送れ、ホストファミリーも準備してもらえるので、もしご子息に国際的な感覚をロータリーというネットワークを通じて経験させたいというような方は、応募ください。次の財団奨学生は、ロータリーの7つの重

点分野の研究を目的に大学院に行く方を、ロータリー財団が奨学金で支援するものです。財団学友の有名な方には、国連難民高等弁務官の緒方貞子さん、国連平和維持活動(PKO)局長の中満泉さん、宇宙飛行士の山崎直子さん、静岡市長の田辺信宏さんなどがいます。また、2620地区からは昨年三人選ばれました。米山奨学生に関しては後ほど渡辺委員長に説明いただきたいと思っております。今この「人材育成」ですが変わりつつあると感じています。今までは「先輩の技術これまでのやり方を教える」ということで、OJT・自己啓発・Off-JTがありました。それが時代の変化で「プラス多様性を活かす」事が必要となり、「多様性・個性を活かす」「自発性・デザイン思考を伸ばす」「現場力・スピード感・アジャイル思考を鍛える」という人材育成が必要になってきました。そしてこの「多様性」というキーワードですが、今までは「肌の色」「ジェンダー」「文化」等でしたが、今は「ジェネレーション」こそが一番の多様性の要素に変わってきている。現在のZ世代と50歳以上は、他の要素より多様性があるのではないかというようなことです。この多様性に対してはOJT等で昔のやり方を教えても難しいという、今の人材育成の課題があるということです。そのような「多様性」をプラスし、生かして行くにはどうすればいいかという事が新しい人材育成の課題になっています。実とロータリーも変わりつつあります。ローターアクトが2019年よりロータリークラブと同等になったのです。この変化はローターアクトの多様性を、もっとロータリーが活用しようというような動きだと私は理解しています。そしてロータリーと一緒に奉仕プロジェクトを創って行く方向に、ロータリーも舵を切ったということになります。この「多様性を活かす」ヒントについて考えましたが、この間大活躍したワールドカップ森保監督が。「世代間の融合」がキーワードだと話されていました。そして素晴らしい結果を残したことは、皆さんも記憶に新しいと思います。「今までの人材育成プログラム」+「世代間の融合」で新しい時代の取組、新しい時代の人材育成を「教え、育て、そして共に考え、共に創る」事が必要ではないかと考えたところです。ロータリークラブは、素晴らしいプログラムに長い期間と取り組み、ロータリーファミリーもたくさんいます。そのような意味では、

らも是非誘って下さい。

牧田 晃子君

長男が静大附属小に合格しました。世に言われるとおり「小学校受験は親の受験」でした。

肩の荷がおりました。

牧田 静二君

孫が静大附属小学校に入学することになりました。遅れましたがスマイルします。

志田 洪顯君

孫が静大附属小学校に入りました。牧田家と同級生です。

福地 益人君

本日●●才になりました。この年までクラブ会員である事は予定にありませんでした。これからも暫くお願いします。

川辺 哲君

誕生日のお祝いありがとうございました。ついに後期高齢者になってしまいました。自分を取り巻く周囲の環境が変わらない様、まだまだ頑張ります。すみやグッディの社長職を息子にバトンタッチしました。少し気持ちが楽になりました。

磯部 義明君

誕生日のお祝いを頂き、ありがとうございます。●●才になりました。定年まであと●年、健康に留意して頑張りたいと思います。

鈴木 義行君

お誕生日プレゼントありがとうございました。いつも感謝しております。今後ともよろしくお願いします。

藤田 博久君

誕生日のお祝いありがとうございます。1年間宜しくお願い致します。

金田 勇紀君

本日●月●●日が●●回目の結婚記念日で素敵なお花を有難うございました。真珠婚とのこと

で「真珠の指輪を買いますか？」と妻にLINEで聞いたところ「要らない」との返事。儉約家の妻で助かりました。、、、という解釈でいいんですよね？

○満席スマイル

12番 山口さんテーブル、16番 松崎さんテーブル (計2テーブル)

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
1/23	108(107)	63名 (現地60名 Zoom3名)	45名	58.57%

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！

なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い場合は全会員出席扱いとします。

●ゲスト卓話●

「米山記念奨学事業について」

国際ロータリー第2620地区

米山記念奨学委員会 委員長

渡辺 郁様 (甲府南RC)



渡辺さまよりロータリー米山記念奨学事業についてお伝えしたいこととして以下の説明がありました。

- ①ロータリー米山記念奨学事業について
- ②米山記念奨学生との学友について
- ③米山記念奨学金と寄付の説明について
- ④設立の主旨について

ロータリー米山記念奨学事業は、世界に平和の種を蒔く親善事業であり益々重要性が高まっている。心の通った支援を行っており世話クラブ、カウンセラー制度について語った。以上